

Indonesia Weekly

2021年8月30日



(対象期間：2021/8/23～2021/8/27)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2021年8月27日)

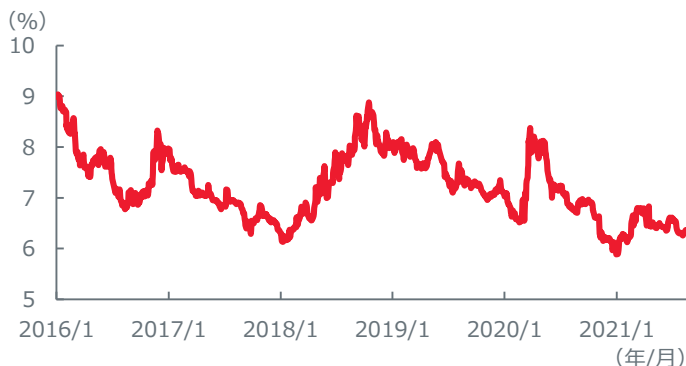


【株式市場】

週初、石炭や金属などのコモディティ価格が反発したことから、コモディティ関連株を中心に上昇しました。首都ジャカルタなどで行われていた行動制限の緩和の発表も好感されました。行動制限の緩和を受けて、政府によるインフラプロジェクトの推進期待が高まり、建設関連株も買われました。週末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）の発言が注目されたジャクソンホール会議を前に様子見姿勢が強まり、大幅上昇となっていたデジタルバンクやハイテク株を中心に利益確定売りなどが見られ、下落しました。インドネシア株式市場は前週末比小幅に上昇しました。

2021/8/20	2021/8/27	変化率
6,030.77	6,041.37	+0.18%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年8月27日)



【債券市場】

インドネシア中央銀行（BI）は、2021年と2022年に総額439兆ルピアの国債を直接購入することで合意しました。ペリーBI総裁は、投資家向けの会議で、この計画は中銀の独立性を損なうものではなく、金融政策は引き続き慎重に行われると強調しました。また同時に、BIは、新型コロナウイルスのデルタ株による健康および人道的な危機に対応するだけでなく、景気回復を支援することを後押しできると指摘しました。これらの発表を受けて、国債の需給環境のタイト化観測から、国債利回りは大幅に低下（価格は上昇）しました。インドネシア10年国債利回りは前週末比低下しました。

2021/8/20	2021/8/27	変化幅
6.370	6.170	-0.200

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年8月27日)



【為替市場】

ルピアは、コモディティ関連価格の反発など、リスクセンチメントが回復する中で週初から上昇しました。BIは、2020年に1回限りとしていた国債の直接購入計画について、2022年まで延長することを発表しました。この発表を受けて、国債市場では利回りが大幅に低下するなど堅調な推移となったことや、世界的なリスクセンチメントの回復などを背景にルピアは底堅く推移しました。アフガニスタン情勢への懸念やジャクソンホール会議を控えてやや弱含む場面も見られたものの、週を通じて堅調となりました。ルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。

2021/8/20	2021/8/27	変化率
0.7586	0.7640	+0.71%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ